

中高科へのヒント 4~6月

4/2

●話し合ってみよう

- ・皆さんの好きな歌に「愛」「love」の歌詞が入っていますか。どんな意味ですか。→「好き」「大切」「恋心」「慕わしい」などです。
- ・「愛」(1)という言葉があります。「世の中で言う愛」と、「主の示された愛」は同じですか。→違います。神(アガペー)の愛です。

●考えてみよう

- ・人は死の前に、本当の姿が明らかにされます。イエス様は何をされたでしょうか。→だまって弟子たちの足を洗われました(4~5)。それは、イエス様の「最後まで愛し通された」ことをあらわしています(1)。
- ・ペテロは「わたしの足を決して洗わないで下さい」(8)と言いました。なぜでしょうか。→自分の罪や、贖いとしての主の十字架が分かっていません(聖書講解、研究資料を参照)。
- ・イエス様から「あなたはわたしとなんの係りもなくなる」(8)と言われたらどうしますか。→「どうぞ、手も頭も」(9)と主に食い下がり、信じゆだねますと答えます。

●自分に当てはめてみよう

- ・あなたは、イエス様に足を洗っていただきましたか。→イエス様の十字架の血潮で罪を赦し、きよめていただくことです。
- ・イエス様の愛を経験した者は何をしますか。→互いに愛し合うことです。具体的には何を？

4/9

●話し合ってみよう

- ・今週は受難週です。イエス様の十字架の意味を深く考えてみましょう。十字架の七言を確認しましょう。→(説教例)
- ・「パッション」の映画で感動した人も多いと思いますが、聖書の記事から十字架の苦しみを理解することは、それ以上に大切です。

●考えてみよう

- ・イエス様の下着をくじ引きにしたことは、預言の成就です。どこの箇所ですか。→詩篇22・18。その他にも、十字架の預言と成就の関係を確認してみましょう(聖書講解、研究資料参照)。
- ・暗唱聖句(26)は十字架の7言の3言目です。イエス様は、なぜ本当の親子ではないのに、マリヤを弟子ヨハネに託したのでしょうか。→イエス様を信じる信仰によって、神の新しい家族になることができるからです。肉親の家族間もイエス様の愛が必要です(聖書講解参照)。
- ・「すべてが終った」(30)とはどんな意味ですか。→完全な救いが成就したことです。人の善行や努力を付け足すことは必要ありません。ただ信じるだけで救われます。

●自分に当てはめてみよう

- ・わたしの罪のために、イエス様が十字架上でどんなに苦しまれたかを考えてみましょう。
- ・イエス様を信じることによって、お互いが神の家族になれたことを感謝しましょう。

4/16

●話し合ってみよう

- ・イースターおめでとうございます。もし、イエス様の復活がなかったとしたら、どんな信仰になっていたでしょうか。→「むなしい信仰」です(Ⅰコリント15・14)。死んだ人を拝む宗教です。しかし、私たちは死からよみがえられた生けるイエス様を信じています。

●考えてみよう

- ・なぜ、「空の墓」を見ても、ふたりの弟子たちは帰って行ったのでしょうか。→まだ半信半疑です。イエス様がよみがえると言われていたことや旧約聖書の聖句を、まだ信じられないからです(9)。
- ・なぜ、マリヤも、復活されたイエス様を園の番人と誤解したのでしょうか(14、15)。→愛するイエス様が死なれた事実打ちのめされて、心が悲しみでいっぱいだったからです。
- ・イエス様の「マリヤよ」(16)の声に気がつきました。どうして気づいたのでしょうか。→聞き慣れたイエス様の声だったからです。イエス様は、私たちにも個人的に声をかけてくださいます。

●自分に当てはめてみよう

- ・イエス様の復活は事実です。生けるイエス様を信じる信仰を確認しましょう。
- ・イースターのカード、トラクト、エッグなどを友だちや家族などに渡して、イースターの喜びを伝えましょう。

4/23

●話し合ってみよう

- ・イースターの事実を信じる人と、信じない人がいます。なぜでしょうか。→「復活などあり得ない」と思い、自分には関係ないと思っています。
- ・「事実を見て、信じない」ということはありますか。それはどうしてですか。→心を閉ざしているからです (25)。

●考えてみよう

- ・エマオの途上の弟子たちはどんな状態でしたか。→互いにイエス様の復活について論じ合っていました (15)。イエス様に希望を持っていましたが、死んでしまって、失望だけが残りました (21)。イエス様の復活も「うわさ話」程度でしか信じていません (24)。
- ・イエス様の方から近づいて来られました。なぜでしょうか。→イエス様はどんなに失望している者にも、不信仰な者にも、半信半疑な者にも近付いてくださるお方だからです。
- ・弟子たちが、復活された主イエス様に気づいたのはいつですか (31)。→旧約聖書が開かれ、イエス様の復活が預言されていたことが分かった時です (32)。

●自分に当てはめてみよう

- ・復活されたイエス様の姿が見えなくなっても、弟子たちは復活を信じました。わたしたちも肉眼の目ではイエス様は見えませんが、弟子たちと同じように、信じましょう。

4/30

●話し合ってみよう

- ・テレビ、ラジオ、インターネットと多くの情報が世界をかけめぐっています。その中で大切な情報はどれほどあるのでしょうか。→無駄な、無意味な、有害な情報も多いのです。
- ・最も大切な情報は何でしょうか。→「福音」です (15節)。

●考えてみよう

- ・弟子たちは、「信じなかった」(11、13、14)と三回もあります。どう思いますか。→弟子たちの心がかたくなで不信仰であったことです。イエス様が弟子たちを見捨てないで、現れてくださったことです (14)。
- ・イエス様の命令は何ですか。→世界宣教です。
- ・世界宣教なんて、そんなことが私たちにできるのでしょうか。→「主も彼らと共に働き、御言に伴うしるしをもって」(20)、私たちを強め、導いてくださいます。自分一人で宣教に行くのではなく、イエス様が行かれる所に共に行くのです。

●自分に当てはめてみよう

- ・「福音」を他の人に伝えるために、私たちは何ができるでしょう。あなたや、中高科でできることを話し合ってみましょう。
- ・「福音」を伝えるために、宣教師、牧師や、信徒として奉仕された方々の証を聞いてみましょう。将来、あなたにできることはありませんか。考え、祈ってみましょう。

5/7

●話し合ってみよう

- ・日曜日に教会に来ていますが、そもそも「教会」とは何でしょう。→建物、先生、集会？これから「使徒行伝」で教会のことを学びます。楽しみにしてください。
- ・教会が誕生するために、一番大切なものは何ですか。→イエス様を信じる証人です。

●考えてみよう。

- ・イエス様は昇天される前に、どんなことを約束されましたか。→聖霊によるバプテスマを受けることです (4、5)。
- ・弟子たちはイエス様の約束を理解しましたか。→イスラエルの国の復興が大切なことと思っていました (研究資料参照)。私たちもイエス様の約束を無視して他のことをしても、失敗してしまいます。
- ・なぜ、弟子たちにとっても、私たちにとっても、聖霊のバプテスマは必要なのでしょう。→「わたし (イエス様) の証人」(8) となるためです。

●自分に当てはめよう

- ・これから信仰生活を送るために「聖霊」を受け、満たされ、導かれることは必要不可欠なことです。そうしないと、結局は自分の力や知恵に頼り、疲れ果てて失敗してしまいます。
- ・聖霊の力によって信仰生活を歩み、イエス様の弟子となりましょう。イエス様の約束を信じましょう。

5/14

●話し合ってみよう

- ・今日は母の日です。プレゼントだけではなく、心からお母さんに感謝をあらわしましょう。
- ・お母さんの思いや苦勞を、聖書から考えてみましょう。お母さんだけではなく、同時に、神様の愛の心と忍耐をあらわしています。

●考えてみよう

- ・母乳で育てる母親の姿 (10, 11) が描かれています。胸は愛情をあらわしています。お母さんはどんなにわが子を愛しているのでしょうか。→私たちもこのようにお母さんに育てられました。
- ・神様も、私たちを愛とみ言葉の乳で育ててくださっています。→しっかりとみ言葉を心に蓄えて成長しましょう (I ペテロ 2・1～2)。
- ・慰めてくれる母の姿 (13) が描かれています。→誰もわかってくれなくても、お母さんはわかってくれて、慰めてくれることが多かったのではないのでしょうか。
- ・神様は私たちの犯した罪を赦し、失敗した時も、慰めてくださいます (研究資料参照)。→自暴自棄になったり、失望するのではなく、神様からの慰めを受け、新しく歩み出しましょう。

●自分に当てはめよう

- ・お母さんの心がわかったならば、自分なりに感謝をあらわしませんか。
- ・神様は私たちに対して、人間の母親以上に私たちことを心配し、愛し、慰めてくださいます。

5/21

●話し合ってみよう

- ・普段、どんな時にお祈りをしますか。→食事の時、困った時、朝晩など。
- ・特に熱心にお祈りをしたことはありますか。そして祈りが聞かれましたか。→受験勉強の時、病気の時、不安の時。解決や平安が与えられました。

●考えてみよう

- ・今日は、弟子たちが熱心にお祈りをしている場面です。何のためにそんなに熱心に祈っているのでしょうか (14)。→イエス様の約束である聖霊を受けるためです (1・4、5)。
- ・聖霊を受けることは、そんなに大切なことですか。→イエス様の証人となって、イエス様に従い、教会ができるためです。人間の力や努力ではなく、聖霊を受け、聖霊に満たされている人が必要だからです。それは神様の願いであり、ご計画だからです。
- ・何人の人が集まっていたか。→120名 (15) ぐらいです。最初は、500人ぐらいいたようです (I コリント 15・6、説教例)。
- ・なぜ、人数が減ったのでしょうか。→聖書には直接的には書いていませんが、いろいろと人間的な理由があったのでしょうか (説教例)。

●自分に当てはめよう

- ・私たちにとって大事なことは、心から祈り、聖霊を受けることです。途中で止めないで祈り続けましょう。

5/28

●話し合ってみよう

- ・みなさんは約束を守りますか。→守らない時もあります。心はあっても、できない時もあります。
- ・神様は約束を守りますか。→必ず守ります。

●考えてみよう

- ・イエス様が昇天された後、聖霊が注がれるという約束をしてくださいました。その約束はどこに書かれていますか。→約束の一つが本日の聖書箇所です (研究資料、聖書講解参照)。
- ・何のために聖霊が注がれるのですか。→神様が信じる者と永遠に共におられるためです (27)
- ・聖霊は誰に注がれるのですか。→「信じるすべての人」です (研究資料参照)。
神の言葉が伝えられ、若者は信仰のビジョンに燃え、老人たちも神様からの夢を持つ様子が預言されています (28, 29)。
- ・もし、自分に失望し、力がないとするならば、それは、聖霊に満たされていないからではないのでしょうか。→聖霊に満たされたいという願いと、心の渇きを与えていただきましょう。

●自分に当てはめよう

- ・聖霊が注がれるという神様の約束は、必ず自分にも成就することを信じ、祈り続けましょう。神様は約束を必ず守るお方です。
- ・ペンテコステの日に弟子たちに聖霊が注がれたように、私たちにも聖霊を注いでくださることを期待し、信じ、待ち望みましょう。

6/4

●話し合ってみよう

- ・アニメ、テレビ、雑誌などで神秘体験や不思議な現象などを見聞きします。聖霊降臨と、どこが違うのですか。→誤解したり、勘違いしないように、また騙され^{だま}ないように聖書を学びましょう。
- ・本日は聖霊降臨日（ペンテコステ）です。どんなことが起こりましたか。→聖霊が注がれ、弟子たちは神様の言葉を語りだしました。

●考えてみよう。

- ・聖霊が降ったのは、みんなで一緒に祈っていた時のことです。→心を一つにしてみんなで祈る時に、神様は祈りに答えてくださることが分かります。
- ・「激しい風が吹いてきたような音」「舌のようなものが炎のようにあらわれてとどまった」現象をどう理解したらよいのですか。→この現象は神様がされた事実（しるし）ですが、現象そのものよりも、象徴的な意味を理解することが大切です（聖書講解、研究資料参照）。私たちは現象を求めるのではなく、「聖霊ご自身」を求めているのです。
- ・今日の個所で大切なことは何ですか。→あの弱く失敗だらけの弟子たちが、大胆にいろいろな他国の言葉でイエス様のことを語り始めたことです（4）。

●自分に当てはめよう

- ・聖霊に満たされて、神様から力を与えていただき、福音を他の人に伝えていきましょう。

6/11

●話し合ってみよう

- ・聖書ではどの人が好きですか。→今日はルツの生き方を学びます。
- ・ルツが困難や八方ふさがりの時、一番大切にしていたことは何だったのでしょうか。→本日の個所。

●考えてみよう。

- ・ルツは結婚した夫に死に別れてしまいました（1・3～5）。そして姑^{しゅうとめ}のナオミは生まれ故郷（イスラエルの国）に帰ることになりました。人生最大の危機です。どうしましたか。→ナオミに付いて行くことを決心しました。
- ・ルツにとっては見知らぬ外国なのに、どうして勇氣ある決心をしたのでしょうか。→ナオミの信じていた神様が本当の神様であることを知り、信じ従っていく決心をしたからです。
- ・その後、ルツは苦勞なく幸せになったのでしょうか。→親戚^{しんぺき}のボアズの畑で落ち穂拾いをしたり苦勞しました。最終的にはボアズと結婚することになります。「シンデレラ・ストーリー」と理解するのではなく、ルツが主に一切を信じ、委ねた結果です。ルツはイエス様の系図に入っています。

●自分に当てはめよう

- ・困難や八方ふさがりの時にも、主は守り導いてくださることを信じましょう。
- ・主に従って行く時に、周囲の人にも神様からの祝福が広がります。

6/18

●話し合ってみよう

- ・今日は父の日です。お父さんに何か感謝をあらわしますか。→ネクタイなどのプレゼント。照れくさいけれども「ありがとう」の一言。
- ・本日の聖書個所で父親とは何かを学びましょう。

●考えてみよう

- ・アブラハムは「信仰の父」（ローマ4・11、12）と呼ばれています。アブラハムは最初からりっぱな信仰者だったのでしょうか。→神様から選ばれ、愛され、導かれ、訓練されて、「神の友」（ヤコブ2・23）となりました。今日の個所は神様からの信仰のテストの時です（1）。
- ・神様はアブラハムに一人息子のイサクをささげなさいと命じられました。あなただったらどうしますか。→できない。いやだ。仕方ないから従う。
- ・アブラハムは神様の言葉に従いました。どうしてできたのでしょうか。→神様はイサクを生き返らせてくださると信じていました（聖書講解参照）。
- ・息子イサクはどうしましたか。→逃げたり、とりみだしたりしないで、静かに父アブラハムと神様に従いました。

●自分に当てはめよう

- ・お父さんに感謝をあらわしましょう。
- ・人間の父親は不完全な面がありますので、欠点が見える時があるかもしれません。しかし、父なる神様は私たちにとって真の父として導き訓練してくださるお方です（ヘブル12・7～11）。

6/25

●話し合ってみよう

- ・みなさんにも誕生日があるように教会にも誕生日があります。それは聖霊降臨の日(今年は6/4)でした。生れたばかりの教会の様子を学んでみましょう。

●考えてみよう

- ・ペテロは長い説教(2・14~36)をしました。要点は何でしょうか。ヒントは話の最後。→イエス様は十字架につき、復活し、昇天し、聖霊を与えてくださいました(聖書講解参照)。
- ・説教を聞いた人たちは、どうしましたか。→「長いお話がやっと終わった」と思ったのではなく、自分の罪が示され、悔い改めに導かれました。
もし、悔い改めがなければ、どんなにすばらしい神様の話を聞いても、どんな神秘的なことが起こっても、無意味です。
- ・その後、ペテロは何をするように勧めましたか。→信仰を告白し、聖霊を受けること。そして教会で聖書を学び、お祈りをし、信徒の交わりをし、^{せいさんしき}聖餐式をすることです。

●自分に当てはめよう

- ・聖霊が注がれるところには、必ず悔い改めが起こります。あなたは聖霊に示されて、罪を悔い改めましたか。それはすばらしい経験です(Ⅱコリント7・10)。
- ・初代教会の誕生の時から守られてきたことを、私たちも心をこめて忠実に守りましょう。